

令和 8 年度 第 1 回輪島市総合計画審議会 議事録

日時：令和 8 年 8 月 20 日（木）

13 時 30 分～14 時 15 分

場所：輪島市役所新館 2 階 中会議室

【輪島市総合計画審議会委員】

- ・輪島商工会議所 会頭 久岡 政治 委員
- ・輪島市区長会長会 会長 久保 敬夫 委員
- ・門前町商工会 会長 沢田 隆 委員
- ・一般社団法人輪島市観光協会 会長 新甫 実 委員
- ・能登森林組合 代理理事組合長 亀井 順一郎 委員
- ・能登農業協同組合 代表理事組合長 藤田 繁信 委員（欠席）
- ・石川県漁業協同組合輪島支所 支所運営委員長 中村 勝成 委員
- ・輪島漆器商工業協同組合 理事長 日南 尚之 委員
- ・社会福祉法人輪島市社会福祉協議会 事務局長 泉原 隆司 委員（欠席）
- ・輪島市各種女性団体連絡会 会長 山田 祥子 委員
- ・連合石川能登地域協議会 事務局長 竹本 徹也 委員（欠席）
- ・一般社団法人輪島青年会議所 理事長 久岡 政之 委員
- ・輪島公共職業安定所 所長 和多田 圭祐 委員
- ・輪島市銀行会 幹事銀行 北陸銀行輪島支店 支店長 西脇 勝 委員（欠席）
- ・公募委員 向面 大樹 委員

【事務局】

- ・輪島市長 坂口市長
- ・輪島市企画財政部：上野部長
- ・輪島市企画財政部復興推進課：平田課長、一本松課長補佐、山下主査
- ・株式会社東洋設計：北村、酒井、中澤

【令和 8 年度 第 1 回輪島市総合計画審議会 会議次第】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介・会長の選出
- 5 諮問
- 6 議題
 - （1）（仮称）第 3 次輪島市総合計画策定方針（案）について
 - （2）アンケート調査の実施方針（案）について
- 7 閉会

【市長あいさつ】

現行の第 2 次輪島市総合計画後期基本計画が今年度で終了する。そのため新たな計画の策定が必要となる。これまでも総合計画に基づき計画的な行政運営を推進している。

しかし、この間に急激な人口減少や少子高齢化、デジタル化への対応など、本市を取り巻く環境が激しく変化している。特に、令和 6 年の能登半島地震と奥能登豪雨により、市民生活と産業基盤に甚大な被害をもたらされた。現在、輪島市は最優先事項として「復興まちづくり計画」に基づき、生活再建、生業の再興、新たなまちへの再生に向けた復旧・復興事業を推進している。

このような状況下で策定する次期総合計画は、復興の先にある本市の持続可能な発展を見据えた市の最上位計画となる。今回の策定では、これまでの施策体系を基本として踏襲しつつ、時代に合った見直しを行う予定である。

特に、復興まちづくり計画との緊密な連携と整合を図り、災害からの復興に向けた具体策を総合計画内に明確に位置付けていきたいと考えている。

また、総合計画の期間は、これまでは 10 年間としてきたが、今回は令和 9 年度から令和 16 年度までの 8 年間に短縮することとした。この 8 年間という期間は、市長任期と連動させ、市長ビジョンや公約を明確に反映し、実効性を高める計画とすることを想定したためのものである。さらに、令和 16 年度までの復興まちづくり計画と計画期間を合わせることで、確実な復興を成し遂げ、その次の総合計画に円滑に引き継いでいくこととする。

総合計画の策定に際しては、行政だけでなく、本委員や経済界、市民の皆様から多様な意見をいただきながら、実効性のある計画としたいと考えている。皆様からの忌憚のないご意見を賜りたい。

【会長の選出】

(輪島商工会議所会頭の久岡政治委員を会長に選出)

(一同、異議なし)

【質疑・意見交換】

事務局	「議題（１）（仮称）第３次輪島市総合計画策定方針（案）について」及び「議題（２）アンケート調査の実施方針（案）について」 （【資料１、資料２】の説明）
沢田委員	■中高生アンケートについて 今後の定住意向として、「輪島に残りたい」や「将来、地域に戻ってきたい」という意向を把握する設問を設ける予定はあるのか。
事務局	ご意見を踏まえ、設問への反映を検討したい。
沢田委員	富山県の事例では、コカ・コーラの工場やマクドナルドなど、若い世代が地域に残ることにつながる雇用・生活環境についての課題がある。若い世代が地域に残れるかどうかについての意向を把握する設問を入れてほしい。例えば、入善町には大きな工場があり、男性は入社する傾向にあるものの、女性は入社しない傾向にあるなど、女性の勤め先に視点を置いた対応・意見収集も検討いただきたい。
事務局	２年前の復興まちづくり計画策定時に中高生アンケートを実施している。今回も自由記述欄等を活用し、中高生の意見を計画に反映していきたい。
向面委員	■アンケートの収集方法について 高齢者の意見も積極的に取り入れてほしい。回答が難しい場合には、家族等による代筆なども含めて高齢者の意見を把握できるようにしてほしい。輪島市では 65 歳以上の方が多くを占めるため、高齢者にも優しい意見の収集方法を検討してもらいたい。
事務局	アンケートは全世帯を対象とし、世帯の代表者に回答いただく形式としている。各家庭の中でアンケートについて話し合っていることも重要と考えており、高齢者の方の意見も可能な限り反映できるよう、配慮していきたい。また、社会福祉協議会等にも協力を依頼し、高齢者の意見を把握できるよう努めたい。
久岡（政之）委員	■計画期間及び市外転出者へのアンケートについて 計画期間は、市長の任期との整合を図るとの説明があったが、現市長の任期との関係はどうなるのか。また、市外へ転出された

事務局	方もアンケートの対象とすることは可能か。 市長の任期との整合については、現市長の任期とは1年間ずれることになるが、3月から新たな任期となったため、令和8年度は現市長の思いや公約を反映する期間として位置付けられると考えている。 市外へ転出された方については、住民票を残したまま転出されている場合には、みなし仮設住宅等への郵送物の転送などを通じて把握できる可能性がある。一方、住民票を市外へ移している方については、アンケートとは別に、市ホームページや公式LINE等を通じて情報発信することが考えられる。
久岡（政治）会長	■アンケートの実施時期について アンケートは9月下旬から実施予定となっているが、今後の確認・調整の進め方について確認したい。
事務局	現在、アンケート内容等について調整を進めている。郵送前に各委員にも内容を確認いただく予定としている。
久保委員	■地域福祉計画とのアンケートの整合について 地域福祉計画についてもアンケートを実施する予定で、9月11日から開始すると聞いている。総合計画のアンケートと内容が重複する部分もあると思われるため、両アンケートの整合を図った方がよいのではないかと。
事務局	アンケート内容について福祉部門と調整し、庁内で整合を図ったうえで、総合計画のアンケート内容を検討したい。

【閉会】（次回会議について）

- ・9月30日（水）13時30分から、輪島市役所本館4階会議室で開催する。
- ・各委員には、次回の会議までに資料の事前確認等へのご協力をお願いする。

以上